

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立大空小学校 学校協議会

1. 総括についての評価

すべての子どもを多方面で見つめ、学校と地域が協力して教育活動を進めていくことができた。

2. 年度目標ごとの評価

○小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80.0%以上にする。

⇒アンケート結果は79.5%であり目標にはわずかに届かなかったが、日々の教職員の児童への働きかけや支援により、「人を大切にする力」が児童一人ひとりが高めていけると評価いただいた。

○小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を39.5%以上にする。

⇒アンケート結果は39.1%であり目標にはわずかに届かなかったが、次年度への改善点で教員が話し合い活動のモデルを提示するや、話し合いをファシリテートするなど、指導の工夫が必要であることを確認し、発達段階に応じて、まずは話し合いにおける意見の聞き方と自分の意見の伝え方を指導し、意見交流やグループディスカッション、ディベートなどといったさまざまな話し合い方法を通して考えを深める学習に各教科で取り組むことを示すことで評価いただいた。

○行事の在り方の見直しや精選を行い、職員の働き方を考慮すると共に、職員間で気軽に話ができ、一人で抱え込むことのない風通しの良い職場づくりに取り組む。

⇒教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす割合は77.8%で、指標の65.9%を達成することができた。次年度は、今年度以上に行事の在り方の見直しや精選、会議の持ち方の工夫を行い、時間外勤務時間の削減に取り組むことで、教員の研修への積極的な参加や教材研究、指導法の研究等の時間の確保に取り組んでいく。また、夕会やカリキュラム検討委員会等で、教職員が意見を出し合い新たな教育活動を生み出す、風通しの良い職場環境づくりに取り組むことを報告し、評価いただいた。

・早帰りの日（17:30 退勤）や定時退勤日（17:00）等を設定し、教職員の心と体の健康の促進に取り組むことを報告し、夜間電話対応時間の変更などにご理解いただいた。

3. 今後の学校運営についての意見

今年度確認した課題（子どもの学力や生活習慣）を、次年度へつなげて、これまで以上に教育活動を推進していくと共通理解した。